

## ビビンの会・グループリーダーを務めて

(メールで頂いた感想をそのまま載せています)

ボランティア 久保田 裕美

先日は、ビビンの会最後まで大変お疲れさまでした。予想よりも多く、新しいお客様がきてくださって驚きました。どこのグループも非常に個性的な人たちが集まり、まとまりがよかったようで、周りのテーブルを見ていると楽しそうなムードが感じられました。

さて、今回の2回目のグループリーダーでしたが、私自身も本当にお客様の協力的でかつ積極的な姿勢にたい



いへん助けられました。

それに、会が始まる前のミーティングでシン君が「プログラムはこうなっているけど、もうその場のムードで進行してかまわないです」と言ってくれたのが、すごく救われました。

なぜなら自分はもともと、人の先頭に立ったり、まとめたりすることがあまり得意ではないからです。どちらかという、縁の下の力持ち的なほうが好きなので。

でも、グループの中でもうムードが出来上がってきたらそれをあえて壊そうとはせずに(個性的なお客様が多いだけに、筋書きどおりに進めようとすると思えば逆効果だと思います)自分は合いの手を打ったり、自己紹介を聞きながらグループ内のひとたちの共通点を探ったり……リーダーだからこそ、先頭にあえて立たず、リスナーに徹しようと思いました。

そのかいあってか、会が始まってからはあまり肩の力が入ることがなかったように思います。

メンバーのある人から「久保田さんがリーダーで面白かったです」という言葉を頂いた時はほんと、感動ものでした。

そういえば、20代のころに就職活動で受けた面接で出会った責任者の方がこうおっしゃっていました。

私は「話が本当に下手なので、とくに集団面接のときはアピールがなかなかできなくて失敗する」という話をしたときのことでした。すると、その責任者の方は……

「小川さん、そこが落とし穴なんです。多くの会社は集団面接の時、とかくアピールできている子ばかりに目が行きがちです。グループで何かをしようとするときにただ意見を出し合うだけでは收拾がつかなくなるのと同じように、面接ではアピールできる力よりも、相手の話をきちんと聞けることのほうがもっと大切だと私は思います」



たぶん、あの日も私の頭のどこかで、このフレーズがちょくちょく顔を出していたからかもしれません。

当初はどうなることかとおもったグループリーダーの仕事でしたが、本当に楽しかったです。正直、また都合があればやらせていただきたいです。

何年前かに初めてビビンの会へ参加した際のアンケートで「スタッフとして活動したい」という希望を出していたような気がするので、遠距離である分、こういうイベントで協力させていただければなあと思っています。

私がアジア基金の存在を知って10年になりますが、今までお会いしてきたスタッフさんはどの方もみなさん心がオープンで朗らかで明るくて素晴らしいですね。自分はどちらかというあまり人間構築のうまいほうではないのですが、なぜかどの方とも初対面ですぐに打ち解けることができました。それはきっと、皆さんの、ひとりひとりの個性を大切にしている心が自然に伝わってきたからだと思います。だから、こんな素敵な人たちとのつながりはいつまでも大切にしたいと思ひますし、自分もそうでありたいと思ひます。



そうそう。私…いまは病院勤務ですが、年齢があるところに達したら、地元で国際交流に少しでも貢献できるような活動をしたいなあと思ひています。しかし、静岡県、特に熱海市はあまりそういう活動が乏しく情報がありません。実家のある三島市にはグランドワーク三島という事務局があり、中学生のころはその系列の団体のボランティアもやっていたのですが…

そういう活動をするには、まずインターンとして入るしかないのかなあとか、ちょっと今から色々情報を集めようかと思ひています。

東京はそういう場がいくつもあっていいなあと思ひつつ、ちょっと住む勇氣はないですが(笑)

特に何をやりたいのかもはっきりさせる必要もありますし、実行するにはまだまだ時間がかかりそうですが、少しずつ動きたいと思ひます。

それでは、ひきつづきフェイスブックもみてくださいね。よろしくお願ひします。

以上